

マーケットの動き (2022年11月7日～11月11日)

先週の国内株式市場は、前週末比で上昇しました。

米国中間選挙が予想以上の接戦となり、政治・経済に対する先行き不透明感から一時下落する局面もありましたが、10日発表の10月の米国CPI（消費者物価指数）が市場予想を下回ったことで、FRB（米国連邦準備制度理事会）の利上げペース鈍化観測が広がり、米国株式に追随する形で国内株式も上昇しました。

投資環境見通し (2022年11月)

国内株式相場は底堅く推移

企業業績は、原材料価格の高騰や世界景気の先行き不透明感の影響が懸念されますが、供給制約の緩和による生産活動の回復、企業の想定為替レートを超える円安水準、全国旅行支援やインバウンド需要拡大による内需押し上げを背景に、堅調さを維持するとみています。国内株式相場は、世界的なインフレ継続による欧米の景気後退懸念といった不透明要因が下押し材料とみられますが、決算発表に加えFOMC（米国連邦公開市場委員会）や米国中間選挙といった海外イベント一巡後には需給環境が好転するとみられ、経済活動再開による内需押し上げを背景に底堅く推移する展開を予想しています。

| | 11月11日 | 騰落率 | | | |
|---------------|-----------|-------|-------|-------|--------|
| | | 前週比 | 1カ月前比 | 6カ月前比 | 1年前比 |
| TOPIX（東証株価指数） | 1,977.76 | 3.26% | 5.69% | 6.84% | ▲1.81% |
| 日経平均株価 | 28,263.57 | 3.91% | 7.05% | 7.82% | ▲3.46% |

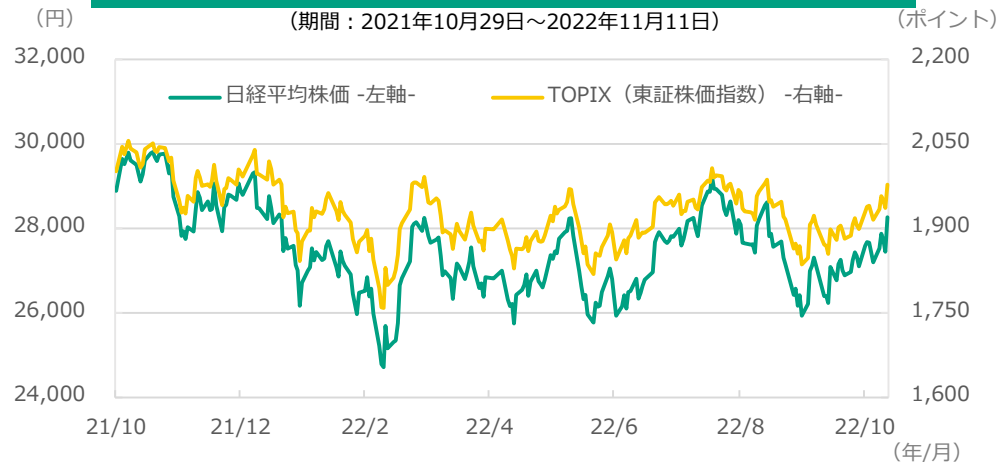
※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日(休日の場合は前営業日)までとします。

※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

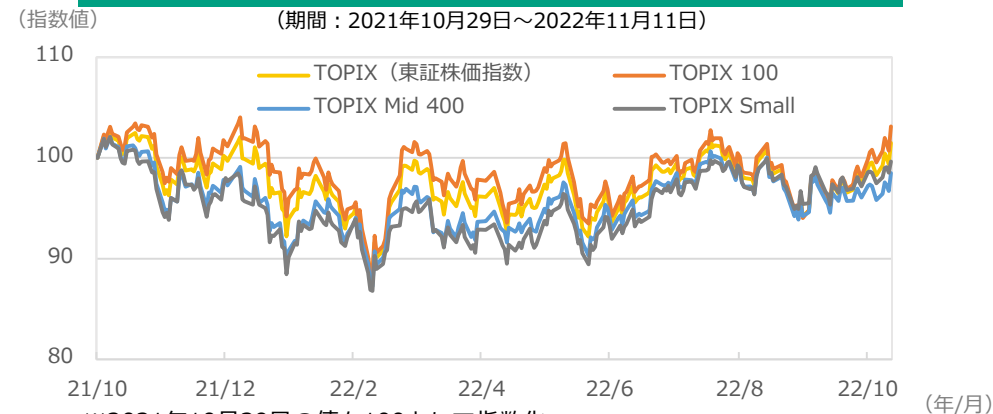
https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202211_outlook.pdf

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>

日経平均株価、TOPIXの推移



TOPIX規模別指数の推移



※2021年10月29日の値を100として指数化

※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成